

プロジェクトマネジメントの基礎から現場のOJTまで実践レベルで習得できる

プロジェクトマネージャー育成研修

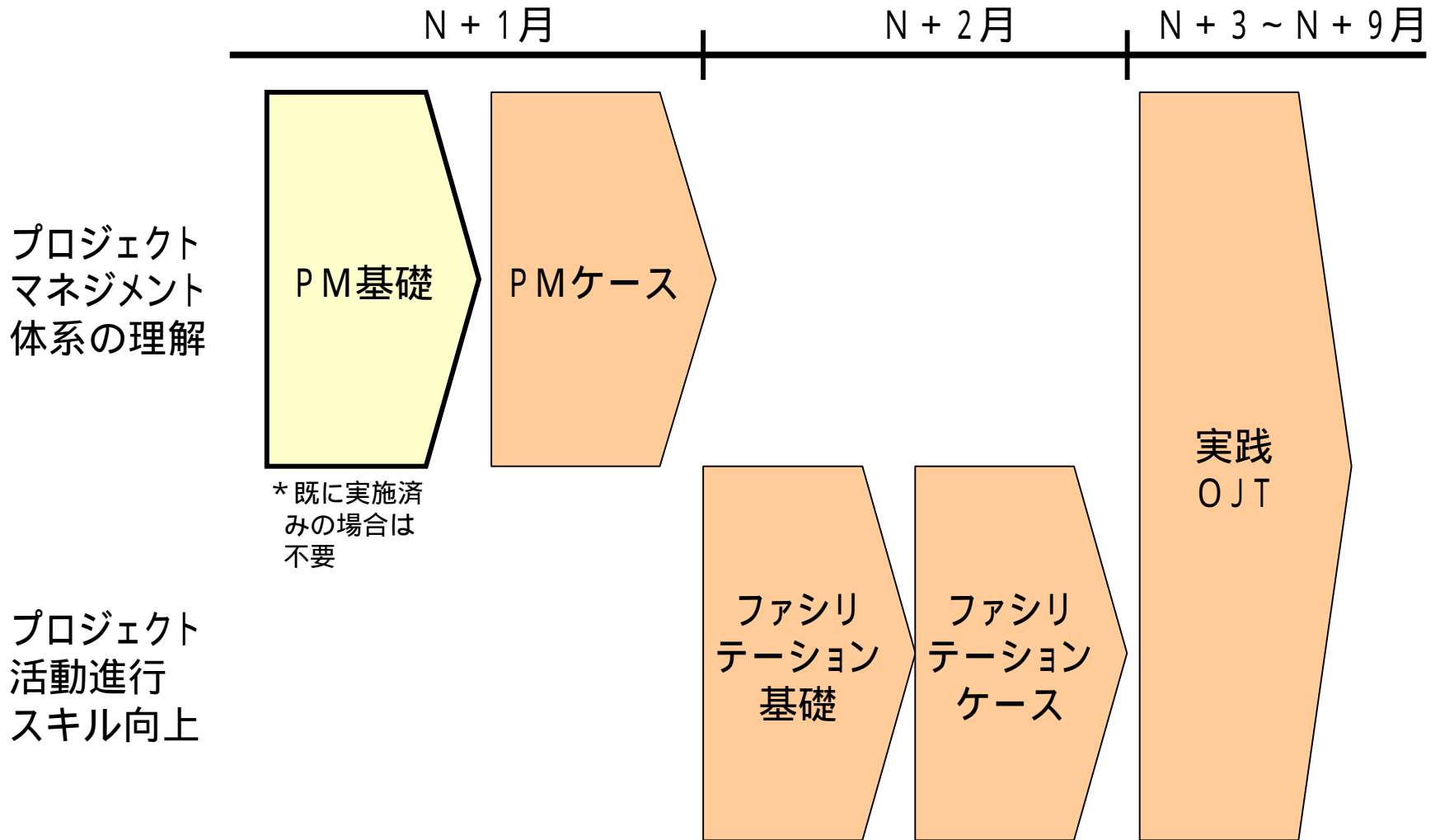
1. 研修プログラム開発の背景

1. ネットワークを含む、IT導入プロジェクトの失敗による、コスト、信用等多くの損失案件が発生している。
2. プロジェクト規模が、拡大するだけでなく、マネジメントの対象範囲も、自社内だけでなく、協力会社にまで、発展しマネジメントが複雑化している。
3. 技術系人材は、存在するが、プロジェクトマネジメントを行う人材不足が表面化し、組織的なプロジェクトマネージャーの育成が必要とされている。
4. プロジェクトマネジメント標準に関する基礎知識の習得は進んでいるが、標準の実践的なカリキュラムがない。
5. プロジェクト活動の進行をリードする、顧客やメンバーとのコミュニケーションスキル向上に関する実践的なプログラムが存在しない。

2. 研修プログラムのねらい

1. プロジェクトマネージャーを、知識習得 応用疑似体験ステップで、標準手法にのっとり、育成する。
 - プロジェクトマネジメントの標準手法を理解し、習得する。
 - 適正なコスト、品質、納期
 - リスクの最小化、最大の効果の追求
 - リソース(人材、設備、金、情報)の最大活用
 - プロジェクトマネジメント標準手法を、ケースにより疑似体験する。
2. プロジェクト活動の進行を効果的、効率的に行う、コミュニケーションマネジメントスキルを向上させるファシリテーション技術を、知識習得 応用疑似体験のステップで育成する。
 - ファシリテーションの標準手法、スキルを理解し、習得する。
 - ファシリテーションとは
 - 会議の効果的な進め方
 - コミュニケーションマネジメントの基本
 - 合意形成と進め方
 - プロジェクトチーム成果と成果最大化のためのファシリテーションの使い方
 - ファシリテーション手法を、ケースにより疑似体験する。
3. 1. 2. の基礎研修で育成したプロジェクトマネージャーを、実プロジェクトで、立上 計画 実施 変更管理 完了のステップでOJTでコーチングを行う。
 - プロジェクトマネジメントを、OJTでコーチングし、実際の現場での適用を体験する。
4. プロジェクトマネジメント標準手法の採用によって、組織内、協力会社への組織的なマネジメント展開を容易に行うことができる。
5. PMP資格または、情報処理技術者、プロジェクトマネージャー資格の基礎知識習得の場として活用する。

3. 研修プログラム全体像



各プログラムの詳細はお問い合わせ下さい。



ここがおすすめの理由です！

1. 中味が違います

体系の理解から実践的なスキルをトータルに習得できます。

創造的なプロジェクト活動への転換の視点から、プロジェクトマネジメント活動の改善策を実践で考えます。

研修終了後、職場ですぐに使える実践的なプロジェクトマネジメント実践手法です。

2. 進め方が違います

体系理解を深める、事例中心の講義です。

創造的なプロジェクト活動への転換を、実習中心で、習得します。

実習内容は、職場で、プロジェクト管理手法の適用をどのように行うかを考える内容です。

3. 講師が違います

プロジェクトマネジメントのプロです。1000人月規模のプロジェクトを複数成功あるいは建て直しを経験しています。

パワフルな雰囲気と納得感がある話術が、高い評価の最大の理由です。

ケース中心の集合研修ですが、個人別にフレンドリーに、徹底的に指導します。

大手SI数社で、多くの採用実績がある講師が担当いたします。